

## 認知症作業療法 活動計画（概要）

石川県作業療法士会では、以下の2つを目的に活動を実施する

- 1) 作業療法では、様々な要因から認知機能が低下している高齢者を対象とすることが非常に多い。認知症の特徴を踏まえて作業療法を提供することが必要であり、その技術向上に取り組む。
- 2) 地域包括ケアシステム時代を迎え、認知機能が低下しても住み慣れた地域で暮らすことが望まれ、作業療法士はその視点をもって、市町の取り組みに協力していく。

## いつでもどこでも脳活プログラム（金沢市）

認知症「予防」と認知症になっても安心して暮らせる地域づくり「共生」を目指すためのプログラムとして金沢市の依頼を受けて県士会が監修した。これまでにない特徴として、『社会脳（社会交流）』のプログラムを取り入れ、従来の『認知脳』、『運動』を組み合わせ、様々な応用も可能である。「社会脳」を刺激した生活が認知症予防に役立つ可能性がある。このプログラム内容についての冊子を作成し、動画配信（YouTube）をしている。



## COVID-19の対応：新たな暮らし応援チラシ作成

新型コロナウイルス感染症について、日々更新される情報収集を行っている。

今後の新型コロナウイルスの第2、3波感染拡大に備え、県士会では様々なサービスに参加することが難しい状況下におかれている人や、あるいはこれまでは健康であったが新型コロナウイルスの感染予防の自粛により暮らしが鈍化した人に対して、新たな暮らしの中でできるひと工夫のチラシを作成した。



## 地域別の支援体制

今年度は、加賀・金沢東・金沢西・能登の支部に認知症作業療法推進委員を配置する。各地域での家族の会などの養成があれば、地域別に対応できるようにしていく。

## アンケート実施

### 認知症関連の課題・各種地域事業への参画状況

作業療法士が働く場は、医療・福祉・介護・行政等々と多岐にわたっている。対象とする人々も、認知症の人、加齢や合併症などで認知機能の低下をきたした人、今後認知機能を低下する人、またそれを取り巻く家族や地域住民と様々である。各々の立場で参画している地域事業の内容と課題を把握するために、県士会員を対象にアンケート調査を行う予定である。

